

川崎市国際交流センターのイベント・講座案内

■下記「イベント」の申し込み先は川崎市国際交流協会まで(8ページ参照)

コンサート

魅惑の音楽紀行～アジアへの旅～

3回
シリーズ

- ◎日時: 9月 5日(日) 14:00～15:30 **第1回公演** インドネシア音楽と影絵芝居
 9月23日(木・祝) 14:00～15:30 **第2回公演** モンゴルの馬頭琴演奏とホーミー(喉歌)
 10月30日(土) 14:00～15:30 **第3回公演** タイの民族楽器演奏と舞踊



▲インドネシア
ガムラン奏者
スミアントさん



▲モンゴル馬頭琴奏者
セーンジャーさん



▲タイ民族楽器奏者
あどうんさん

◎会場:川崎市国際交流センター・ホール

◎入場料:前売1回1,500円(3回シリーズをまとめて購入する場合は4,000円) 当日券2,000円

◎定員:230名(先着順・自由席)未就学児入場不可

◎申込:(財)川崎市国際交流協会へ電話、FAX、メール、来館(10時～16時)のいずれかでお申し込みください。

◎支払:事前にお申し込みの上①現金払い、②郵便振込みにてお支払いください。入金確認後、入場券を郵送します。詳しくは協会ホームページ、ちらしをご覧ください。

語学講座

平成22年度 後期語学講座の申し込み受付中です!!

受講者
募集

2010年10月より各講座を開始します。*お申し込みの際の個人情報、講座の運営以外の目的には使いません。

◎会場:川崎市国際交流センター ◎定員:各クラス25名 [16歳以上] (定員を超えた場合は抽選) ◎受講料:下記参照

◎申し込み方法:往復はがき(1枚につき1名、1講座)に①講座名、②受講者名、③郵便番号・住所、④電話番号を記入の上、お申し込みください。

| 講座名 | 日 時 | 講 師 | 受講料 | 内 容 |
|--------------------|---|--------------------------|---------------------------|---|
| 英国の文化と社会 (全12回) | 10月13日(水)～1月19日(水) 毎週水曜日 19:00～20:30 | シーラ・クリフ 十文字学園女子大学准教授 | 18,000円 (教材費1,000円別) | 英語で、英国の現代社会の実状を文化も含めて学びます。最新資料も教材として使用します。 |
| タイ語入門 (全12回) | 10月14日(木)～1月20日(木) 毎週木曜日 19:00～20:30 | ラサミ・チャイクル フェリス女学院大学講師 | 18,000円 (テキスト代1,785円別) | ネイティブ講師からタイ語を学んでみましょう。微笑みの国、タイを訪れたときに役に立つ会話に、さあ、挑戦! |

英検2級・
TOEIC
600程度

※他にも定員に余裕のある講座がありますので、お問い合わせください。

交流協会の イベントレポート

2010 インターナショナル・フェスティバル in カワサキ

2010 INTERNATIONAL FESTIVAL IN KAWASAKI

開会式には、エチオピア・エジプト・キルギス・タンザニア4カ国の大使のご臨席がありました。当日は昨年をしのぐ来場者で会場は人、人、人であふれました。

7月4日(日)開催

「世界はとどろち」をテーマに、あらゆる人々が、様々な場面で楽しめるよう工夫され、一日中大勢の老若男女でにぎわっていました。

レセプションルーム、屋外、ロビー各所に特設ステージが設けられ、外国人市民や地元小学生、民間団体などの皆様による音楽や踊りの披露がありました。特にアフリカ・タイ・ブラジル・エチオピア・韓国・ジャワ島の珍しい民族音楽や踊りには、観客もリズムに合わせて出演者と共に歌ったり踊ったり、にぎやかな交流の場となりました。ロビーでのオーストラリア紹介コーナーでは、浴衣姿のウーロンゴン大学生が国の紹介だけでなくクイズを観客と共に楽しむ光景もみられ国際交流を実感しました。

屋外の世界の料理コーナーでは、各国の味を楽しむ人々で長い行列ができるほど。屋内の体験コーナーでは、多くの子どもたちがフラワーアレンジメントや水墨画に挑戦し、また離れの茶室では、抹茶体験も大盛況といった様子で、楽しさいっぱいのフェスティバルになりました。



(取材・文:編集ボランティア 福地直子)



川崎で頑張っている

民間交流団体紹介⑤

に ほん ゆう こう きょう かい かわ さき し ぶ 日本ベトナム友好協会川崎支部

ベトナムの子どもたちに自転車を

私たちは、ベトナム・ダナン市の子ども(10km以上の遠距離通学をしている生徒たち)に、川崎市から放置自転車を提供していただき、2003年12月から今年の3月までに4475台を贈ってきました。

この活動は「子どもの学習意欲の向上にもおおいに貢献している」とたいへん感謝され、ダナン市・クアンナム省や友好連盟から3回も感謝状を頂き、今年の3月にはダナン解放35周年記念式典に招待され、支部長が参加しました。また、支部独自に年一回、小学校や自転車を贈った子どもの家庭をたずね友好、親善を深めています。

「日本にはなぜこんなにたくさんの自転車があるのか」とのベトナムの子どもたちの疑問にこたえて、絵本「自転車銀太の旅」を



▲自転車贈呈式

出版しました。日本語、ベトナム語、エスペラント語の3カ国語の対訳をつけ、ベトナムに200冊寄贈し、川崎市立小学校と図書館に各1冊ずつ寄贈しました。

この絵本に関心を寄せてくれた舞踏家と音楽家により「銀太の旅」は「ひとりミュージカル」になり、いくつかのイベントや学校での公演が始まっています。今後も年2回は自転車を贈り続け、活気あるベトナム・ダナンの街を訪問する旅を楽しみにしています。(文・写真・日本ベトナム友好協会川崎支部 宮原春夫)

【問合せ先】 日本ベトナム友好協会川崎支部
TEL 044-246-6823(くらしの相談センター内)